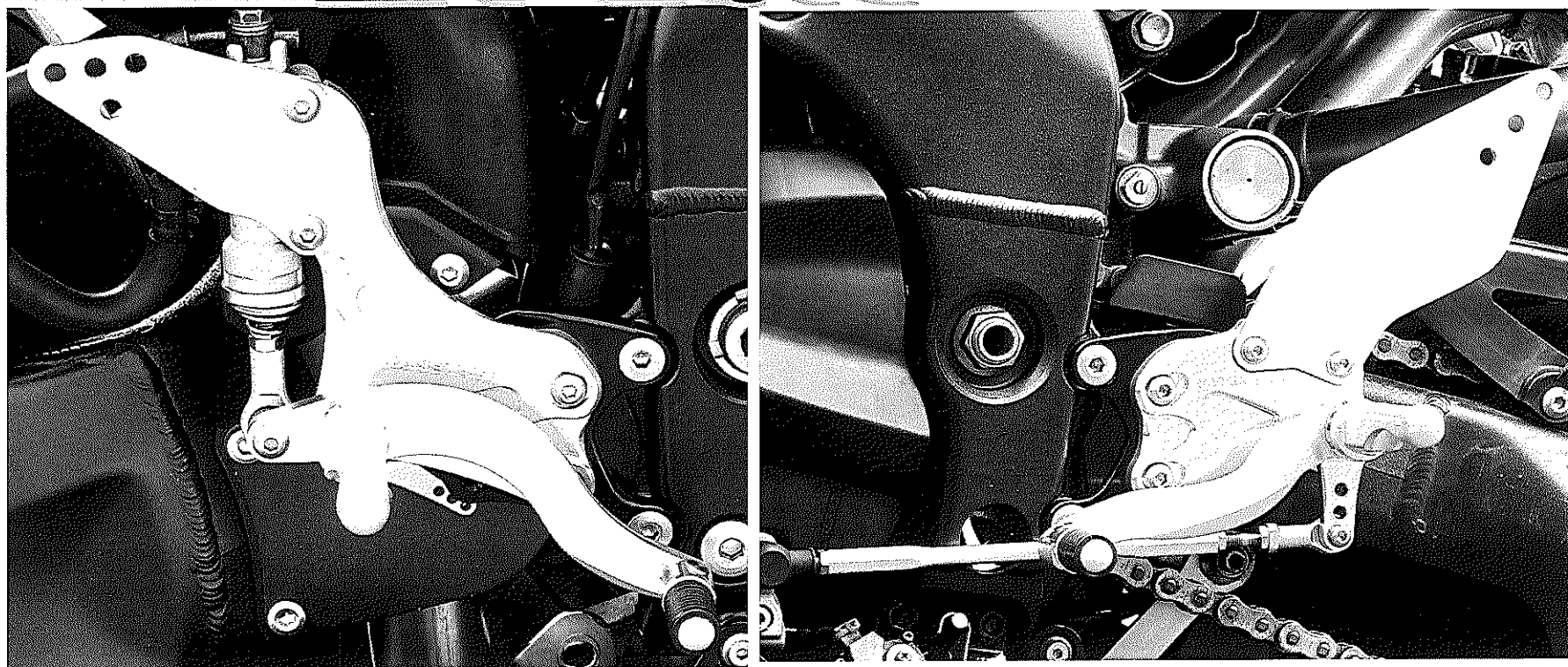


'06-'08
kawasaki **ZX-10R** **Hyper Bank** < 取付説明書 >



おもな仕様

◆ チェンジ側・ブレーキ側 ステップホルダー	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ チェンジ側・ブレーキ側 ポジションプレート	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ 両側ステップシャフト (※ 可倒式のみ)	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
◆ チェンジ側ペダル・ブレーキ側ペダル	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造 削り出し
◆ 両側ペダルピン (可倒式機構付き)	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造 削り出し
◆ チェンジペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ ブレーキペダルカム	➢ アルミ (ジュラルミン)	削り出し
◆ MFJレースレギュレーション対応 ステップバー (※ 固定式のみ 対応)	➢ アルミ (ジュラルミン)	鍛造 削り出し
◆ エクステンション用 シフトチェンジロッド付属。	➢ ステンレス (耐蝕、耐候性素材)	削り出し
➢ 両側ペダルピン、可倒システム採用。	➢ 8 ポジション可変システム	
➢ 各部ボルト、ナット類 耐食、耐候性メッキ処理	➢ ステップバー 固定式仕様に加え、可倒式仕様を新たに設定。	

《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

◇ 取付作業に入る前に本商品の部品一式が、きちんと揃っているか別紙パーツリストと照らし合わせて確認してください。

ブレーキ側(R)の取り付け

※ 作業中に、ブレーキ周りの部品が、車体やマフラーに傷をつけたりする事がある為、あらかじめ ウェス、古布 等でカバーして当たらないように工夫してください。

リアブレーキマスターシリンダーを止めている純正 M8 ボルトを緩めて、プッシュロッド部の 純正 M8 アジャストナットを緩めます。

純正ヒールガード取付 M8 ボルトを緩めて純正ヒールガードと純正 M8 取付ボルトを STD ステップから外します。

STD ステップホルダーを止めている純正 M8 ボルトを外して、ホルダー Assy ごと回してマスターシリンダーから、完全に取り外します。

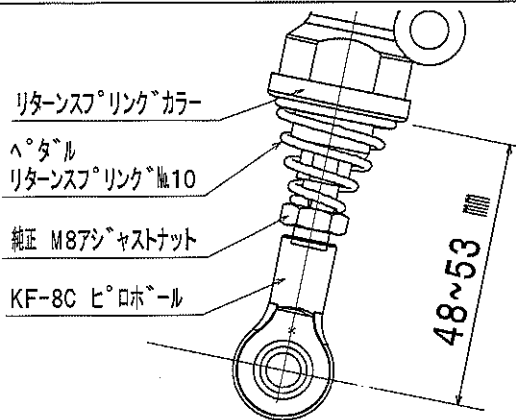
(※ 純正 M8 ホルダー取付ボルト・純正ヒールガード・純正 M8 アジャストナット (1コ) を後で使用します)

その後で、純正ブレーキランプスイッチを STD ホルダーから外してください。

右図のように、
純正マスターシリンダーに

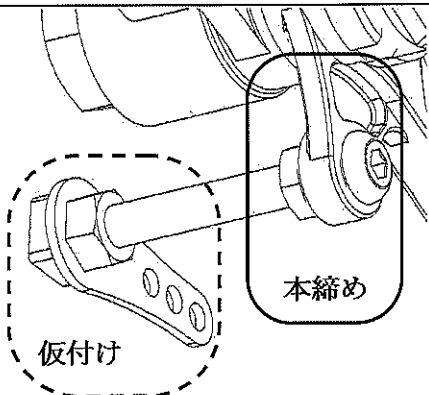
- 【1】 H/B リターンスプリングカラー
- 【2】 ペダルリターンスプリング No.10
- 【3】 純正 M8 アジャストナット(1コ)
- 【4】 KF-8C ピロボール

の順でプッシュロッドの M8 ネジ部に取り付け、



マスターシリンダーに取付けたリターンスプリングカラーのフチの部分から KF-8C ピロボールのボールの 8mm 穴の中心との間を約 48 ~ 53 mm 程の距離に調整し、純正 M8 アジャストナットを仮止めします。
(※ 左図矢印参照)

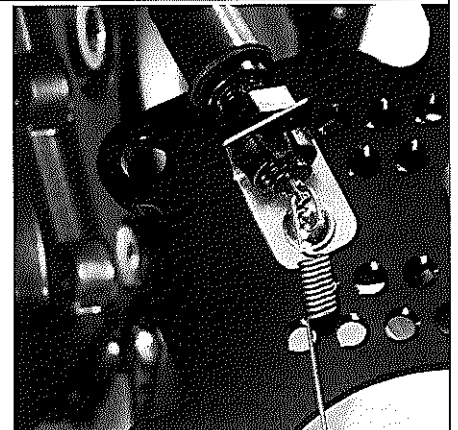
(※ 取付後に 要再調整)



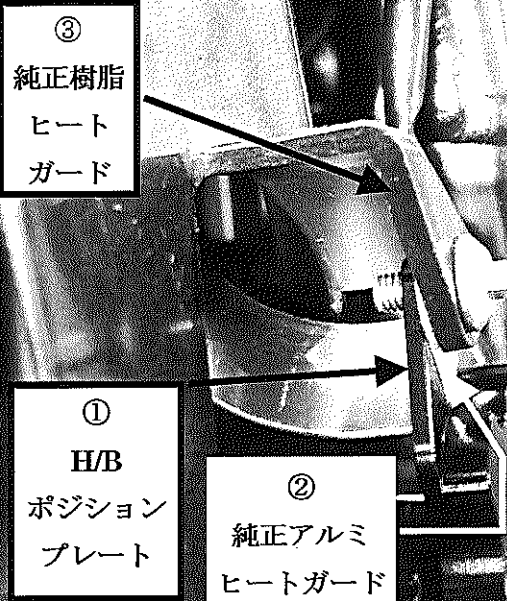
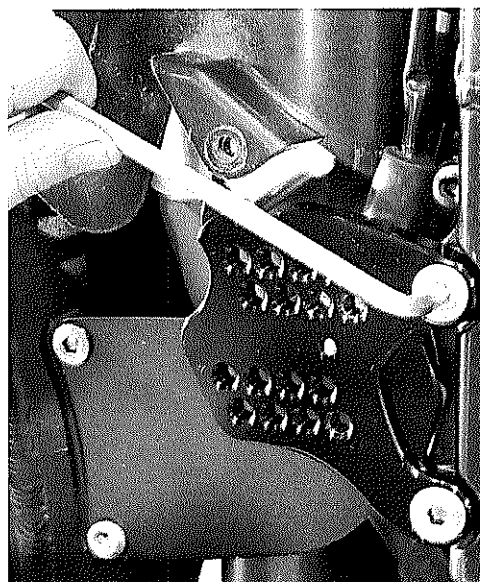
ブレーキペダルのネジ部に丸キャップボルト M6×50 を締め込み、裏から左図のように、M6 ジャミナットで本締めしペダルに完全に固定します。

そして、スイッチロッドステーと M6 ジャミナットを左図の様に、仮付けしておきます。

純正ブレーキスイッチをポジションプレートに取付けられているスイッチステーにはめ込み、本品付属のブレーキスイッチスプリングを、スイッチの先端の穴に引掛けておきます。
※ 【右図参照】



ブレーキ側ポジションプレートと車体側の間に、ポジションプレート取付けカラー (φ 22 × φ 8.2 × 5 mm 厚) を挟んで純正ホルダー取付ボルトで取り付け、本締めしておきます。



H/B ブレーキ側ポジションプレートの後端にある
※ M6 ネジ穴部の表側に

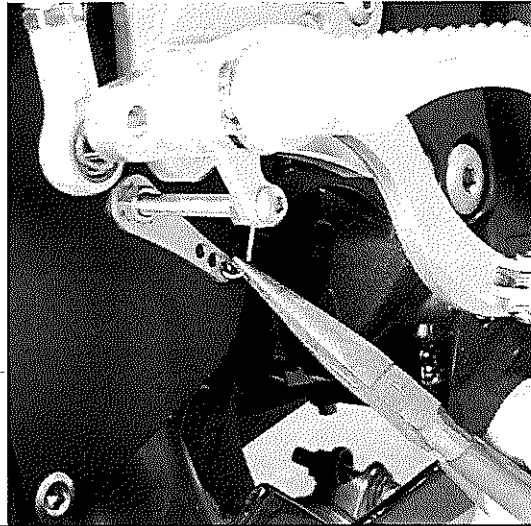
- ① H/B ポジションプレート
- ② 純正 アルミヒートガード
- ③ 純正樹脂 ヒートガード

の順番に重ね合わせて、表側から純正ヒートガード取付ボルトで固定しておきます

※ 純正ヒートガード取付ボルトは締め過ぎないように注意して下さい。
M6 ネジ穴が破損します。

ブレーキ側ステップホルダーを取付けたポジションプレートに丸キャップボルト M8×15 で本締めします。

※ 最初の取付け時は、一番前のポジションで取付けて下さい。走行時は必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジブレーキ両側のポジションが同じである事を確認して下さい。



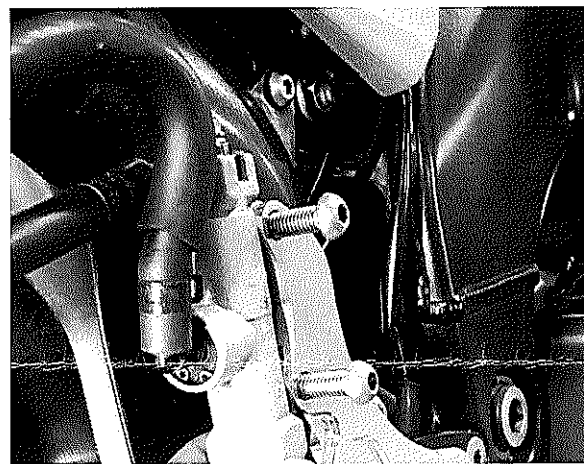
スイッチロッドステーの角度を、ブレーキスイッチに取付けられているスプリングの長さに合わせて、ロッドステーがボルトから外れないようネジのかかり量に注意して回しロッドステーの先端側の穴に、引っ掛けます。

ロッドステーの傾きが決まってからスイッチステー側のM6 ジャミナットを本締めします。

※ (左図の角度を参考)

- ▶ スイッチロッドステーの本締めの際、スイッチロッドステーごと回りますので、※前出写真で決めた角度を保つように工夫して本締めして下さい
- ▶ M6 ジャミナットをスイッチロッドステーが回らないように押さえながら本締めして下さい。

付属のブレーキスイッチスプリングの長さに合わせて、ブレーキスイッチのアジャストナットを回してブレーキスイッチスプリングがブレーキスイッチの先を軽く引っ張る程度に調整しておきます。



リアマスターシリンダーのピロボールとブレーキペダルカムを車体外側から

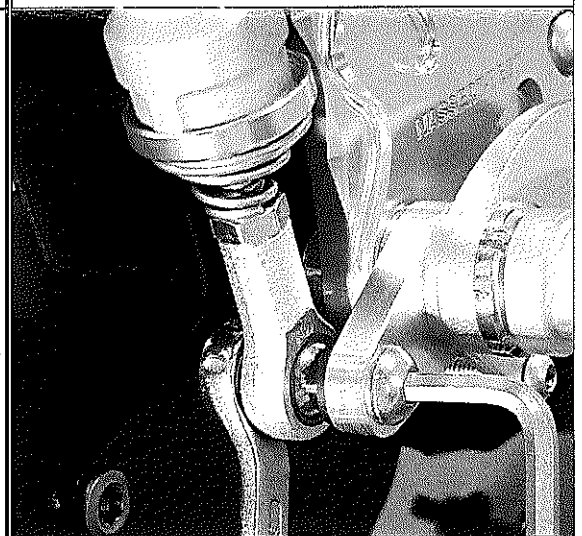
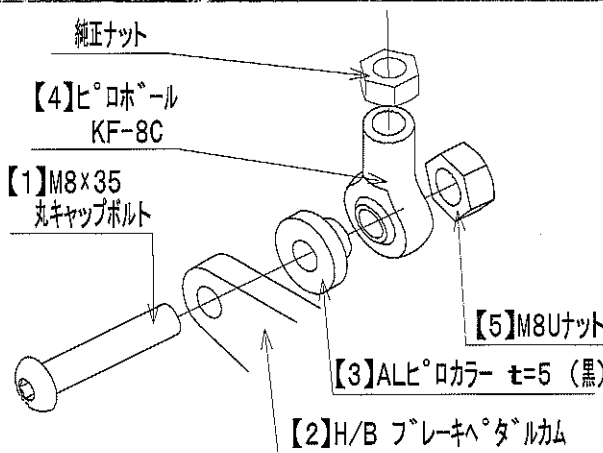
1. M8×35 丸キャップボルト
2. H/Bブレーキペダルカム
3. ピロカラー t=5
4. ピロボール KF-8C
5. M8Uナット、

の順で組み付けます。

純正マスターシリンダーとペダルカムの組み付けが終わったらM8Uナットを仮締めして、

- ▶ ペダルの角度、
- ▶ ブレーキスイッチの引き具合を確認します。

リアブレーキマスターシリンダーを、ステップホルダーの裏側から取り付け、リアブレーキマスターシリンダーをヒールガードを取付けずに M8×20 丸キャップボルトで仮止めし、丸キャップボルトを本締めします。

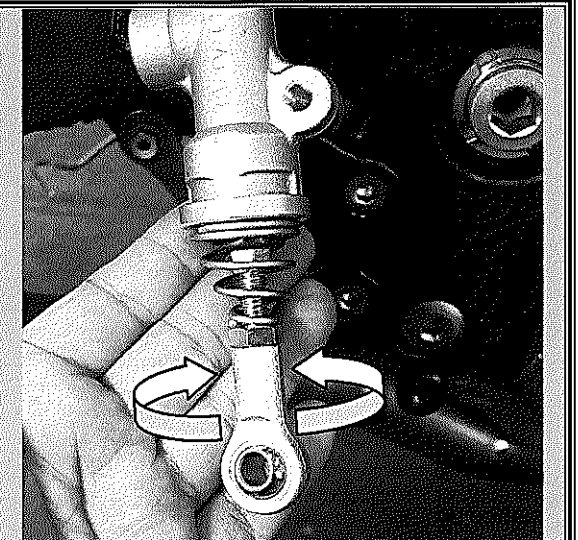


※ ブレーキペダルの角度が合わない場合は

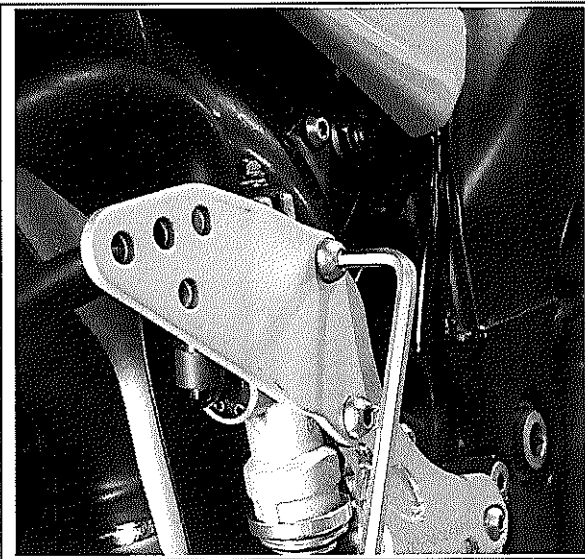
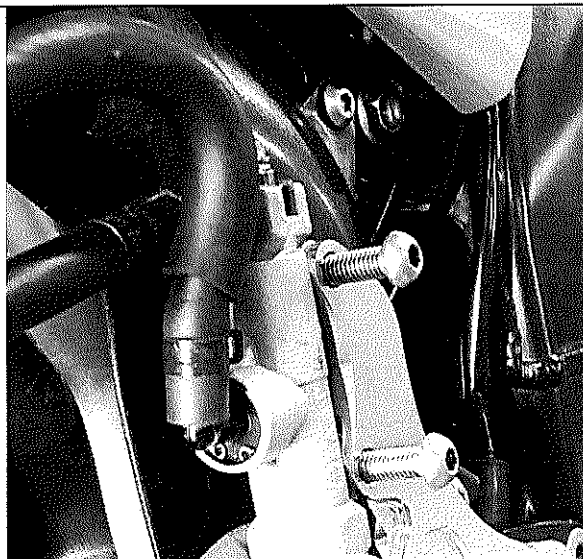
ピロボールを固定しているM8 ジャミナット緩めてから、ブレーキカムとピロボールを固定しているM8ナットとM8ボルト・ピロカラーを外し、ピロボールを回転させて調整します。

- ▶ ペダルが上向きすぎる場合は…
ピロボールを少しずつ閉めてペダルの先端を下げます

- ▶ ペダルが下向きすぎる場合は…
ピロボールを少しずつ緩めてペダルの先端を上げます



純正
ブレーキスイッチ
アジャストナット

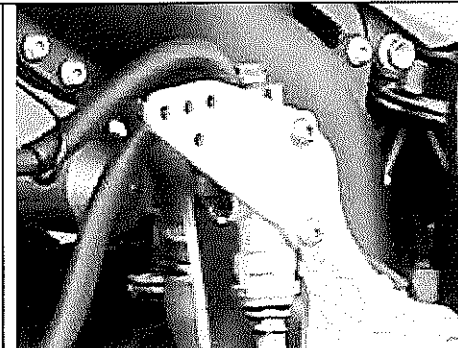
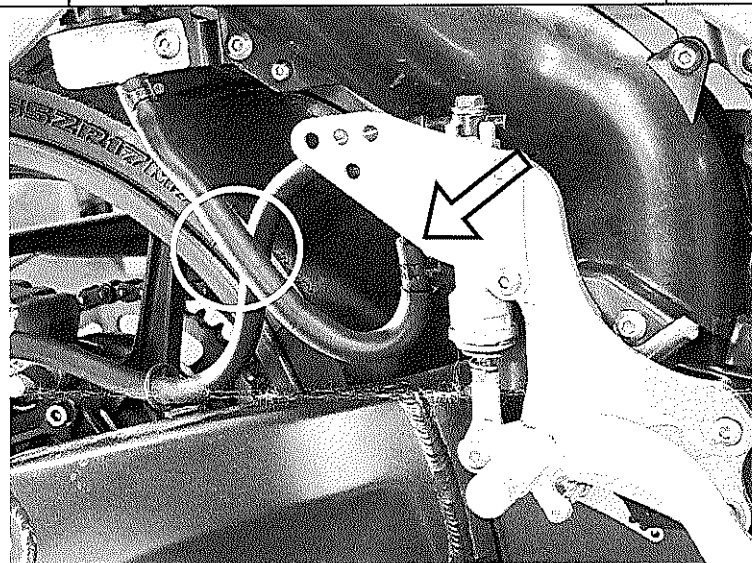


ブレーキペダルの角度調整と同時に、ブレーキランプの点灯を確認しながらブレーキスイッチの 引き加減 を調整します。

◆
ブレーキランプの点灯するタイミングを見ながら、純正ブレーキスイッチのアジャストナットを回し、再度調節して下さい。

各部の調整が終わったら、マスターシリンダーをとめている M8 丸キャップボルトの 下側のみ を先に外し、ヒールガードとホルダーの間に M8 平ワッシャを挟んで、外した丸キャップボルトで再度仮締めする。

下側の丸キャップボルトを仮締めしたら、同じ要領で上側のボルトでもヒールガードとホルダーの間に M8 平ワッシャを挟んで仮締めし、軽くペダルを動かして各部の動作を確認する。



ピロボール固定用の純正 M8 ジャミナットを本締めし、マスターシリンダとヒールガード 固定用の M8 丸キャップボルトも 上下2本とも本締めします。

※ リザーバタンクのホースの取回しがきつい場合は、純正樹脂ヒートガードに、取付けられているリザーバタンクの取付ボルトを外し、タンクの天地方向(上下方向)を保ったままマスターシリンダとのジョイントパーツ(※ 割れ易いので)をゆっくりと回して 上図写真 の様に取回しをします。(※ジョイントパーツ上記矢印)

取り回しの修正無しでも上記の様に取付ける事は出来ますが、エキゾーストからの熱の影響を考慮し、左記の取回しをお勧めします。

尚、取回し後も走行時の各部の 干渉・熱等 の影響の無い様に ブレーキ系の取回し を工夫して取付けて下さい。

◇ ブレーキ側の取付けの最後に…

H/B ブレーキ側の取付け確認して各部の増し締めを行って下さい。

LH (チェンジ側) の取り付け

▶チェンジ側STDステップの純正アルミシフトチェンジロッドの両端のM6 ジャミナットを緩め、純正アルミシフトチェンジロッドのみをエンジン側ピロボールから外します。

(エンジン側チェンジカム・純正チェンジカムボルト・純正ピロボールそのまま使用します)

▶純正ヒールガードプレートをとめているM6 ボルトを外し、純正ヒールガードプレートをSTDステップから外します。

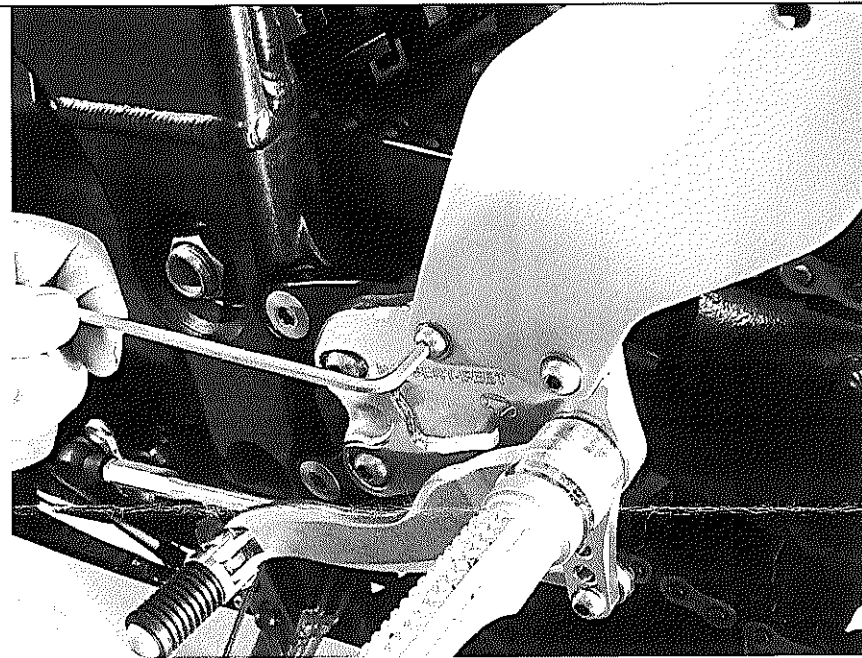
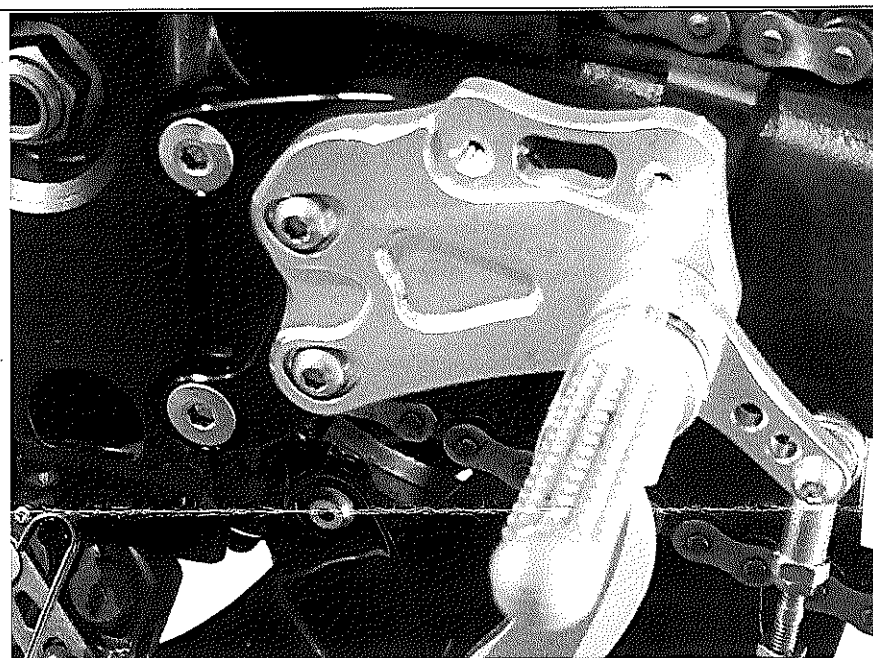
▶STDステップを車体に固定している純正M8 ボルトを外しSTDステップを車体から外します。

(※ 純正ヒールガードプレート・純正アルミチェンジロッドは後で使用します。)

チェンジ側ポジションプレートに H/B チェンジ側ステップホルダーAssy を取付け、丸キャップボルト M8×15 で本締めします。

純正取付ボルトでポジションプレートごとチェンジ側 Assy の状態で車体側に取り付け、本締めします。

純正ヒールガードをM6×10 丸キャップボルトとM6 平ワッシャでチェンジ側ステップホルダーに取り付けます。



※ 最初の取付け時は、一番前のポジションで取付けて下さい。走行時は必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。

純正アルミチェンジロッドを純正エンジン側ピロボールのネジ部にネジを少し (5mm 程) かけ、仮付けします。

純正アルミチェンジロッドに、付属のステンレスチェンジロッドのネジを少し (5mm 程) かけ、ステンレスチェンジロッドのペダル側のM6 ネジをペダル側ピロボールに、同じくネジを少し (5mm 程) かけ仮付けします。

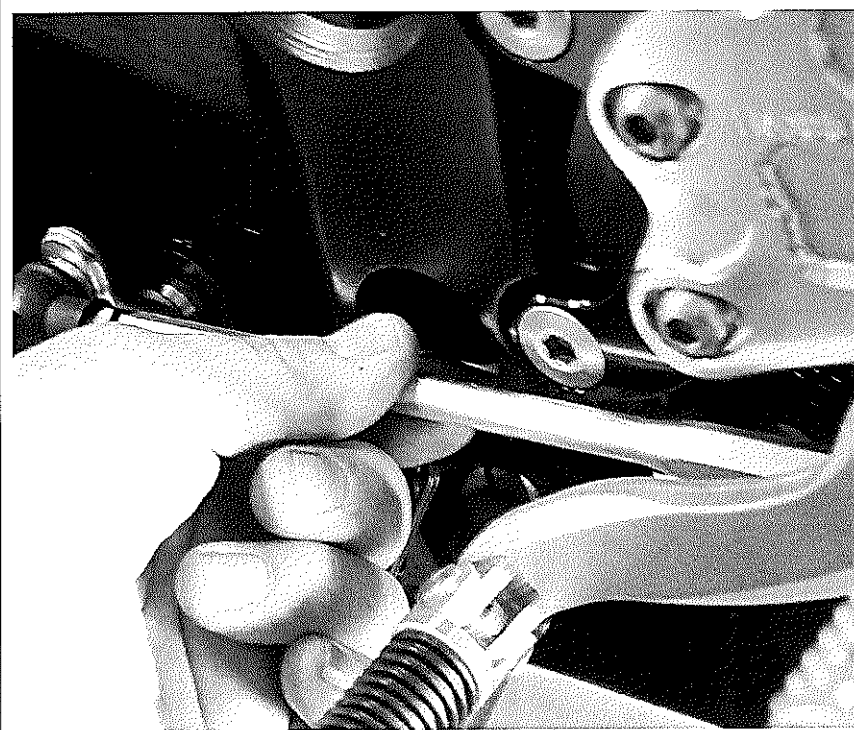
※ 3種類 (45mm、53mm、72mm) のステンレスロッドは設定するポジションやペダルの垂れ角によって使い分けて下さい。

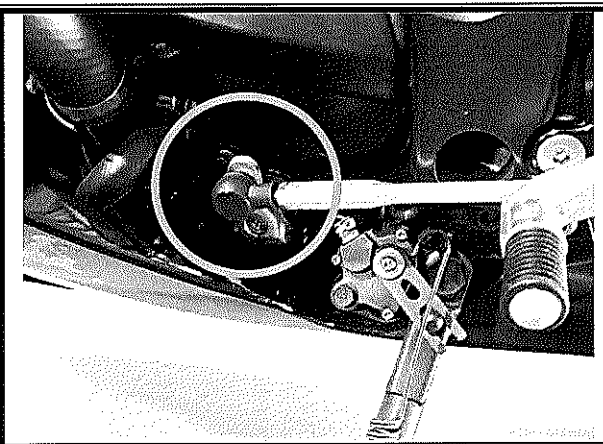
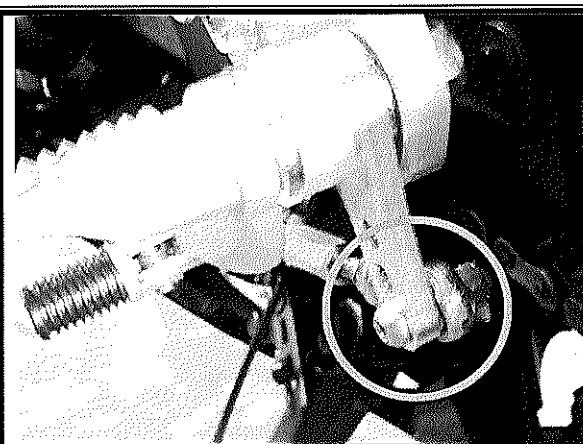
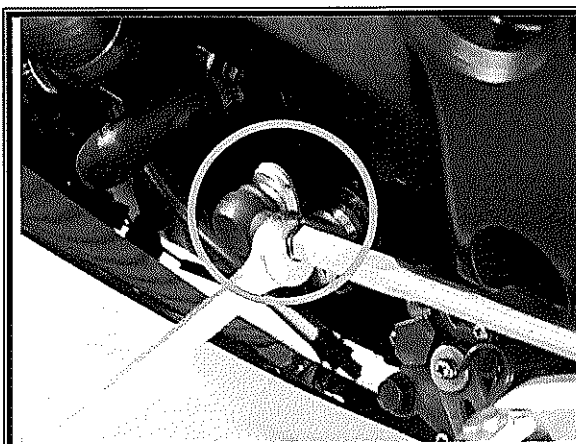
※ 付属のステンレスエクステンションロッドを選択するときは、

- ▶ ステンレスロッドの後端 (ペダル側) M6 逆ネジ と
- ▶ ステンレスロッドの前端 (エンジン側) M6 正ネジ と
- ▶ 純正チェンジカムのピロボール M6 逆ネジ の

※ それぞれの部分のネジのかかり量が 8~10mm 以上になるように注意して調整して下さい。

※チェンジロッド等の脱落の原因となります!!





アルミチェンジロッドも回してお好みのペダルの垂れ角に調整して、ペダル位置が決まったらチェンジロッドのM6ジャミナット(3個)を本締めして下さい。

H/Bチェンジペダルカムとペダル側ピロボールを仮締めしている丸キャップボルトをM6Uナットで本締めする。

エンジン側チェンジカムの純正取付けボルトを本締めする

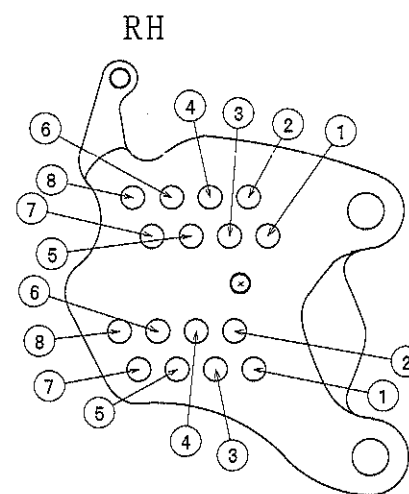
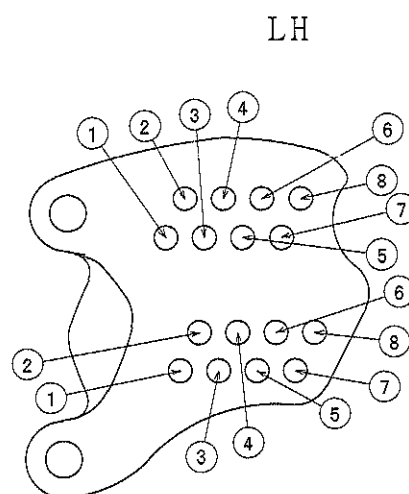
※ この時、シフトチェンジ操作に不具合が無いか確認して下さい。

停車状態で、シフトチェンジ操作を2～3度行って、シフトフィールとシフトチェンジ動作時の各部の干渉などを確認しながらペダルの角度を再度確認して下さい。

◇ チェンジ側の最後に…
H/Bチェンジ側の取り付け再確認をして各部の増し締めをして下さい。

ポジションチェンジについて

	BACK	UP
Pos. 1	4.5 mm	11 mm
Pos. 2	10 mm	22 mm
Pos. 3	15.5 mm	11 mm
Pos. 4	21 mm	22 mm
Pos. 5	26.5 mm	11 mm
Pos. 6	32 mm	22 mm
Pos. 7	37.5 mm	11 mm
Pos. 8	43 mm	22 mm



》 注意点 《

- ◇ 取付けるマフラーによって、選択できないポジションがありますので御了承下さい。
- ◇ ブレーキ・チェンジ両ペダルの垂れ角の範囲は、ある程度、選択・調整が可能です。極端な変更は安全な操作の妨げとなりますので、十分注意してください。
- ◇ 必ず、ご自分に合ったポジションを選択し、チェンジ・ブレーキ両側のポジションが同じであることを確認して下さい。
- ◇ 取り付けが終了し、何度か走行された後に、各部のネジを軽く増し締めすることをお奨めします。
- ◇ その後も必ず、各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL 072 (257) 7600
FAX 072 (259) 6600

(株) 日本ビート工業

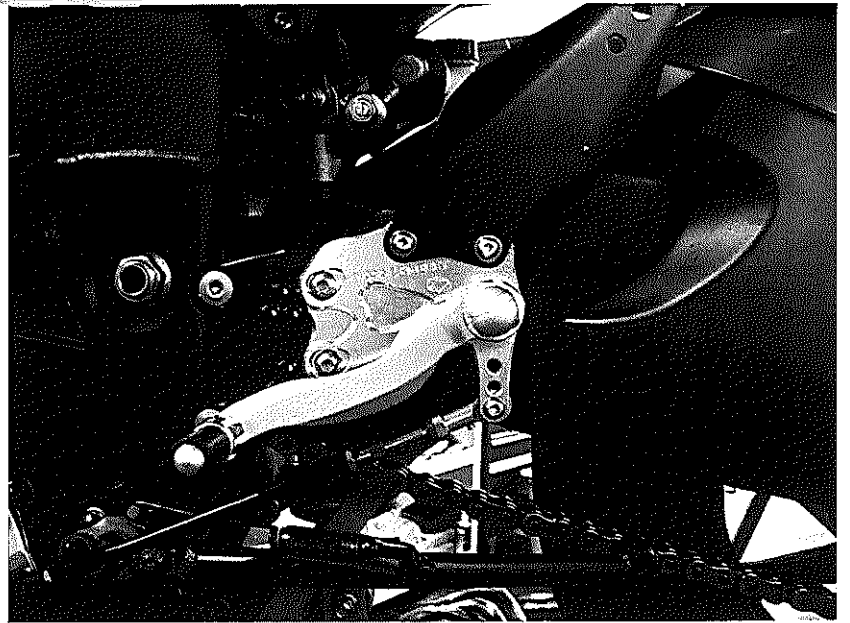
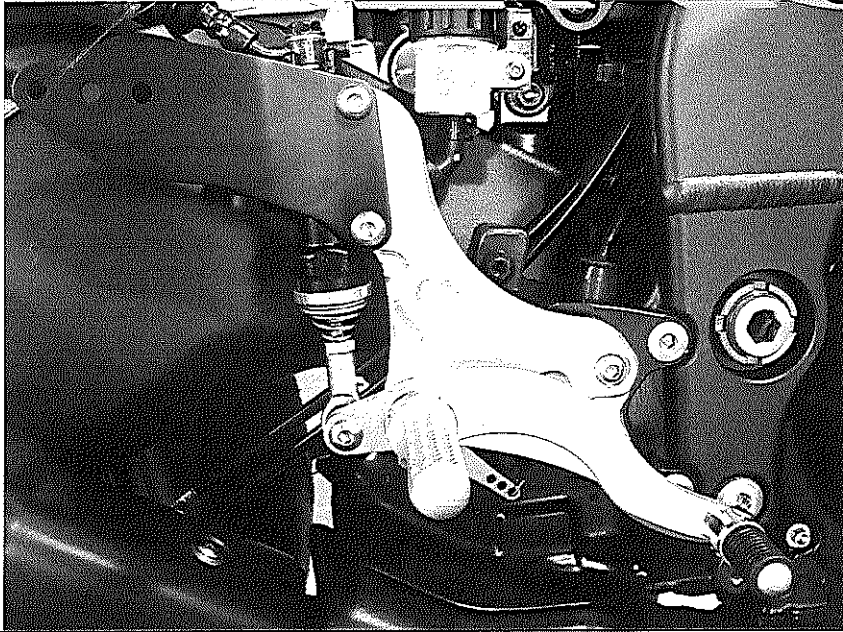
まで

- ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEET Web site

Web サイトを開設しております。
左記 URL にてご覧下さい。

'08 kawasaki **ZX-10R** Hyper Bank <取付補足説明書>



《 注意 !! 》

取付作業をはじめる前に
必ずお読みください

《 Attention!! 》

- ◆ 本製品の取付作業は、オートバイメーカー発行のサービスマニュアルによる、確かな知識・技術を持ったバイクショップ 又は、販売店に依頼する事をお奨めします。
- ◆ 本製品の取付作業は、エンジン・マフラー・ラジエターなどが、完全に冷えている状態で行ってください。ヤケド等の怪我の原因となります。
- ◆ 製品に加工を施さないで下さい。重大な事故の原因になります。
- ◆ 御客様の装着されているマフラー製品、その他の部品等によって本製品と干渉し、使用できないポジションがありますので、予め御了承下さい
- ◆ 本製品の取付作業終了後、走行の前に、必ず ブレーキの利き具合・引きずりの有無・ブレーキランプの点灯確認・シフト周りのガタツキ 等を確認してください。
- ◆ 本製品の取付作業終了後、初期の段階で各部のボルト・ナット類が緩み易くなっていますので、2～3日走行後必ず増し締めを行ってください。
- ◆ その後も各部のメンテナンス、及び増し締めを定期的に行なって下さい。

◇ 06～ハイパーバンクの取扱説明書に加えて下記の補足が加わります。

※ハイパーバンク ブレーキ側

H/B ブレーキ側 ポジションプレートの後端にあるM6ネジ穴部の表側に純正デバイスワイヤーステーを取り付けます。

後方のポジションを使用する場合はリザーブタンクホースの取りまわしを変更してください。

弊社製品に関するお問い合わせは、

TEL 072 (257) 7600
FAX 072 (259) 6600

㈱ 日本ビート工業

まで

- ホームページ URL
<http://www.beet.co.jp/>
- 商品関連 e-mail アドレス
sales@beet.co.jp
- 技術関連 e-mail アドレス
support@beet.co.jp

BEET Web site

Web サイトを開設しております。
左記 URL にてご覧下さい。